

## 安全データシート

作成日: 2015/03/01

改訂日: 2024/03/01

## 1. 製品及び会社情報

製品名:	高純度尿素 生化学用尿素 試薬特級尿素 日本薬局方【製造専用】尿素 高杉一級尿素	※製品名の末尾に(H)を付したハラル認証製品を含みます。
会社名:	高杉製薬株式会社	
住所:	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617	
電話番号:	092-621-1231	
FAX番号:	092-621-6269	
推奨用途:	一般工業用途、医薬品等原料	
使用上の制限:	推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと	

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類:	GHS分類基準に該当しない。	
重要危険有害性		
物理的及び化学的危険性:	該当せず/分類対象外/分類できない	
健康に対する有害性:	該当せず/分類対象外/分類できない	
環境に対する有害性:	該当せず/分類対象外/分類できない	
GHSラベル要素		
絵表示又はシンボル:	該当なし	
注意喚起語:	該当なし	
危険有害性情報:	該当なし	
GHS分類区分は付与されないが取扱い時には以下の点に留意する。		
注意書き:	[安全対策]	環境への放出を避けること。
	[応急措置]	飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当てを受けること。
	[保管]	特になし
	[廃棄]	内容物/容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
他の危険有害性:	情報なし	

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分:	単一製品
化学名又は一般名:	尿素
化学式又は構造式:	CH <sub>4</sub> N <sub>2</sub> O、(NH <sub>2</sub> CONH <sub>2</sub> )
分子量:	60.06
濃度又は濃度範囲:	99.0 % ≤ 尿素
CAS 登録番号(CAS RN®):	57-13-6
官報公示整理番号:	化審法 (2)-1732/安衛法 既存
危険有害成分:	特になし

## 4. 応急措置

吸入した場合:	異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所へ移動する。
---------	--

皮膚に付着した場合:	<p>症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。 付着した製品を拭い取り、水や微温湯で洗い流しながら石けん(鹼)を使って良く洗い落とす。</p>
眼に入った場合:	<p>外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。 直ちに清浄な水で数分間洗浄する。 洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。 異物感が目に残るようであれば、速やかに医師の手当てを受ける。</p>
飲み込んだ場合:	<p>無理には吐かせないこと。 意識がない場合、口から絶対に何も与えない。 口をすすぐ。 保温して速やかに医師の手当てを受ける。</p>
応急措置をする者の保護:	<p>保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。</p>

## 5. 火災時の措置

消火剤:	棒状水、霧状水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤:	情報なし
火災時の特有の危険有害性:	当該製品は火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。
特有の消火方法:	情報なし
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、状況に応じた保護具(自給式呼吸器、防火服、防火面など)を必ず着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置:	<p>保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。 作業の際には保護具を着用し、この物質が皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。 漏れた場所の周辺から人を退避させる。</p>
環境に対する注意事項:	漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
封じ込め及び浄化方法・機材:	<p>火花を発生させない工具を使用すること。 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。 少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。</p>

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	<p>「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を参照。 吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。 取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。 取扱いは換気の良い場所で行い、粉じんが発生しないようにする。</p>
安全取扱い注意事項:	<p>全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 みだりに粉じんを発散させない。 発散した粉じんを吸い込まないようにする。</p>
衛生対策:	<p>取扱い後は、手をよく洗うこと。 この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。</p>
保管	
安全な保管条件:	<p>保管場所の床は、床面に水が浸入/浸透しない構造とする。 保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 屋内貯蔵を原則とする。 静電気対策のために、容器および受器を接地する。</p>
安全な容器包装材料:	紙袋、樹脂容器、ポリ袋、フレコンバッグ
混触禁止物質:	強酸化剤

**8. ばく露防止及び保護措置**

管理濃度:	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会:	該当しない
米国産業衛生専門家会議(ACGIH)	該当しない
:	
設備対策:	取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。 密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。
保護具	
呼吸器の保護具:	防じんマスク
手の保護具:	保護手袋
眼の保護具:	安全ゴーグル、保護眼鏡、保護面
皮膚及び身体の保護具:	保護衣、安全靴、安全帽、保護前掛け

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状態	
形状:	結晶又は結晶性の粉末
色:	無色～白色
臭い:	無臭
臭いのしきい(閾)値:	データなし
pH:	8-10 (水溶液)
融点・凝固点:	132.5-134.5 °C
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
燃焼性(固体、ガス):	データなし
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	0.0016 Pa (25 °C)
蒸気密度:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし
比重(密度):	1.33
溶解度	
水に対する溶解性:	107.7 g/100 g(20 °C)
n-オクタノール/水分配係数:	log Pow = -3.00 ~ -1.54
自然発火温度:	データなし
分解温度:	135 °C
粘度(粘性率):	データなし
粒子特性:	データなし

**10. 安定性及び反応性**

反応性:	データなし
化学的安定性:	通常の状態安定 160 °C付近まで加熱すると分解して、アンモニアガスを発生してシアン酸アンモニウムに変わる。
避けるべき条件:	高温
混触危険物質:	強酸化剤
危険有害な分解生成物:	窒素酸化物、アンモニア
危険有害反応可能性:	粉じん及び(粉末の場合)成形・加工時等に発生する低分子量物質は、静電気等により着火・爆発を引き起こす可能性がある。

**11. 有害性情報**

急性毒性(経口):	ラット LD <sub>50</sub> : 14,300 mg/kgにより、区分に該当しないとした。
急性毒性(経皮):	ラット LD <sub>50</sub> : 8,200 mg/kgにより、区分に該当しないとした。
急性毒性(吸入):	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	粉じんと接触により、皮膚の物理的な刺激又は乾燥が起きる可能性がある。 データ不足のため、分類できない。
目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	粉じんが目に入ると、機械的な刺激が起きることがある。 データ不足のため、分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	分類できない
誤えん有害性:	分類できない

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性):	魚毒性(Barilius barna); LC <sub>50</sub> > 9,100 mg/L/96hr オオミジンコ(Daphnia magna); EC <sub>50</sub> > 10,000 mg/L/48hr 藻類(Desmodesmus subspicatus); EC <sub>50</sub> > 10,000 mg/L/72hr 以上により、区分に該当しないとした。
水生環境有害性 長期(慢性):	分類できない
残留性/分解性:	情報なし
生体蓄積性:	情報なし
土壤中の移動性:	情報なし
オゾン層破壊物質:	分類できない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 許可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。 廃棄物処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分に告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装:	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分すること。 使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適切に廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号:	該当しない
品名(国連輸送名):	該当しない
国連分類:	該当しない
容器等級:	該当しない
海洋汚染物質:	該当しない
国内規制	
陸上輸送情報:	該当しない
海上輸送情報:	該当しない
航空輸送情報:	該当しない
特別な安全対策:	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
緊急時応急措置指針番号:	該当しない

## 15. 適用法令

労働安全衛生法:	該当しない
消防法:	該当しない
毒物及び劇物取締法:	該当しない
大気汚染防止法:	該当しない
土壤汚染対策法:	該当しない
水質汚濁防止法:	該当しない
海洋汚染防止法:	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
船舶安全法:	該当しない
航空法:	該当しない
道路法:	該当しない

化学物質管理促進法(PRTR法):	該当しない
外国為替及び外国貿易法:	輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS3102.10】
医薬品医療機器等法:	医薬品のみ適用

## 16. その他の情報

### 参考文献:

1. 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 第2集 化学工業日報社(1994)
2. 通産省公報 平成5年12月28日
3. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH(1985-86)
4. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2008)
5. 製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>
6. GHS分類集(I)(II):(社)日本化学物質安全情報センター
7. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース株式会社

### 改訂情報:

旧版(2023年6月1日付け)からの改訂点は、「1.製品及び会社情報」への「推奨用途」「使用上の制限」の追加である。

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。